



12月の採用薬品

破トキ「ビケンF」(沈降破傷風トキソイド)

トキソイド類

一般財団法人阪大微生物病研究会

【効】破傷風の予防

【用】初回免疫：通常、1回0.5mLずつを2回、3～8週間の間隔で皮下又は筋肉内に注射する。

追加免疫：第1回の追加免疫には、通常、初回免疫後6ヵ月以上の間隔をおいて、(標準として初回免疫終了後12ヵ月から18ヵ月までの間に)0.5mLを1回皮下又は筋肉内に注射する。ただし、初回免疫のとき副反応の強かった者には適宜減量する。以後の追加免疫のときの接種量もこれに準ずる。

【副】添付文書参照



わずかに粘性のある
無色～微黄色澄明の液

イオパミドール300注100mL「F」

非イオン性尿路・血管造影剤

富士製薬工業

【効】脳血管撮影、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影、デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、逆行性尿路撮影

【用】 【副】添付文書参照

12月の採用薬品(院外専用薬品)

ツムラ26桂枝加竜骨牡蛎湯エキス顆粒

漢方製剤

ツムラ

【効】下腹直腹筋に緊張のある比較的体力の衰えているものの次の諸症：

小児夜尿症、神経衰弱、性的神経衰弱、遺精、陰萎

【用】通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



後発医薬品への切り換え

ネキシウムカプセル20mg → エソメプラゾールカプセル20mg「ニプロ」
ケアラム錠25mg(院外専用薬品) → イグラチモド錠25mg「あゆみ」

12月の採用薬品(特定個人薬品)

ビブラマイシン錠100mg

TC系抗生物質

ファイザー

【効】<適応菌種>：

ドキシサイクリンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、淋菌、炭疽菌、大腸菌、赤痢菌、肺炎桿菌、ペスト菌、コレラ菌、ブルセラ属、Q熱リケッチア(コクシエラ・ブルネティ)、クラミジア属

<適応症>：

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、尿道炎、淋菌感染症、感染性腸炎、コレラ、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙のう炎、麦粒腫、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、中耳炎、副鼻腔炎、歯冠周囲炎、化膿性唾液腺炎、猩紅熱、炭疽、ブルセラ症、ペスト、Q熱、オウム病

【用】通常成人は初日ドキシサイクリン塩酸塩水和物として1日量200mg(力価)を1回又は2回に分けて経口投与し、2日目よりドキシサイクリン塩酸塩水和物として1日量100mg(力価)を1回に経口投与する。

なお、感染症の種類及び症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



ベクルリー点滴静注用100mg

抗ウイルス剤

ギリアド・サイエンシズ

【効】SARS-CoV-2による感染症

【用】通常、成人及び体重40kg以上の小児にはレムデシビルとして、投与初日に200mgを、投与2日目以降は100mgを1日1回点滴静注する。

通常、体重3.5kg以上40kg未満の小児にはレムデシビルとして、投与初日に5mg/kgを、投与2日目以降は2.5mg/kgを1日1回点滴静注する。

なお、総投与期間は10日までとする。

【副】添付文書参照

白色～微黄白色
～黄色の塊

